輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

１０年に一度の寒波襲来！ 一面の雪景色!!

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

今日は七十二候でいう「**水沢腹堅（すいたくふくけん）**」です。厳しい寒さで沢が全て凍る頃ということです。それに呼応するかのように昨夜から雪が降り、非常に気温が低くなりました。今朝は一面の銀世界。路面は凍てつき、大変滑りやすい状況、子供達の登校が非常に心配でした。そのような中、学校に来た子供達は、とても元気で安心しました。手に雪を持っている子、雪だるまを持ってきた子、雪は子供達にとって大変魅力的なものなのだと改めて思いました。保護者の皆様には、どんな雪の思い出があるでしょうか。子供のときの雪の思い出、きっと多くの方の心の中にあるのではないでしょうか。雪が降れば外に出て、積もった雪を集めて丸めて雪だるま、誰かに投げつけ雪合戦、手や頬を真っ赤にして、冷たい冷たい雪をその手に感じたことがあるのではないでしょうか。暗い空を見上げ、降りくる雪を口に含んだ方もおられたことと思います。雪が止み、太陽の光が覗くと真っ青と真っ白の色鮮やかなコントラスト、そんな風景を誰もが覚えているのかもしれません。１時間目、真っ白な雪の上を元気に駆け回る子供達の姿がありました。明るく燥いだ声が運動場に響いていました。大きな災害をもたらすこともある雪ですが、子供達にとっては、正に天からのあたたかい贈り物となりました。

さて、早いもので１月も残り一週間となってまいりました。今週末は、いよいよマラソン大会が迫ってきました。インフルエンザによる学級閉鎖もあり、心配な状況ではございますが、乗り切りたいと考えているところです。先週、子供達にこのおはようマラソン、マラソン大会に向けて是非頑張って欲しいことを２つ話をしました。**１つ目は、おはようマラソンを休まないで参加すること**、体調はその日その日で変わってきます。鼻水が少し出るときもあるでしょう。足が痛いときもあるでしょう。何となく気分が優れないときもあるでしょう。めんどくさいときもあるでしょう。朝ごはんがしっかり食べられなかったときもあるでしょう。昨日の夜、夜更かしをしてしまったときもあるでしょう。そうです。いくらでも休む理由を見つけることはできます。どうしても体調が優れないときは仕方がありません。誰も無理強いはしません。でも、もしかして心の隙間、油断が見えるときがあるかもしれません。そんなとき、「よし！」って思えるか、「やろう！」って思えるかが大きな分かれ目です。自分の体調をしっかりと認識し、**今、自分ができることを精一杯していくことが大切だと思います。２つ目は、「一番に走り出せ！」ということ**です。朝、学校に来れば色々なことをしないといけません。荷物の整理、連絡帳を書く、課題の提出、トイレ、委員会の仕事等、その学年、その役割においてするべきことは雑多です。そのような中で、自分がしないといけないことをテキパキと行い、自らの意志で、運動場に出て、走り出して欲しいと思います。友達と一緒に、仲間と一緒に、これも大切なことではありますが、たった一人でも、誰もいない運動場に出て駆け出す勇気、走ることへの意志の強さを示して欲しいと思います。まだ誰も出ていない運動場、きっと勇気がいると思います。でも、**たった一人でも飛び出し、駆け出すそんな力強さ、逞しさを備えて欲しいと願っています。**

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行、心配は尽きませんが、恐れていても何も始まりません。**一人一人が自分ができる最高の準備をし、最善を尽くしていくことが重要かつ必要です。**日々の感染症対策を徹底し、**「恐れず、正しく、適切に。」**対応していくことです。保護者の皆様の深いご理解とあたたかいご支援とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。**３学期、元気で逞しい子供達の姿を期待しております。**中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　No.５３　令和５年１月２５日　小野市立中番小学校長　田中康善